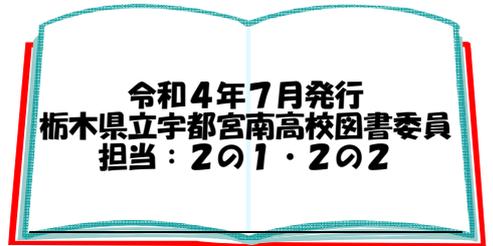


図書館だより



今年は6月中に梅雨が明け、夏本番が早くもやってきましたね。7月といえば七夕。日本の行事や風習についての本を読んでみませんか？

あるいは、星空に思いをめぐらせ、「読むプラネタリウム」と言われる本

『カリスマ解説員の楽しい星空入門』はいかがでしょう。

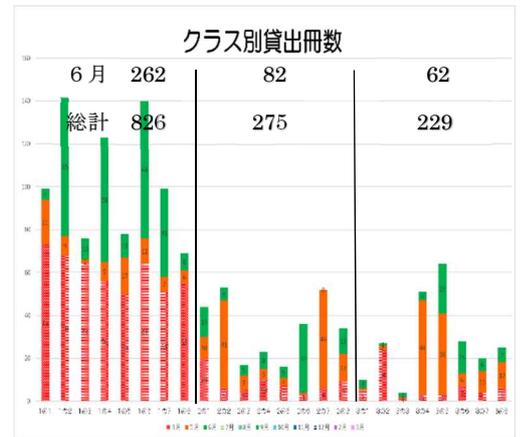
「星」と初恋のミステリーもあります。短冊も用意しました。

図書館で願い事をかいてみてはいかがでしょうか？



6月クラス別貸出冊数

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	合計	年間計	昨年比
1年	5	65	10	58	11	64	41	8	262	826	+170
2年	14	6	5	8	5	32	0	12	82	275	-53
3年	4	1	2	4	23	15	6	7	62	229	-14
合計									406	1330	+103



貸出日……7月6日（水）～20日（水）

貸出冊数…1人5冊まで

返却期限…8月29日（月）始業式

※ 夏休み中の開館日に本の貸出・返却できます。

※ 今借りている本は、一度返すか、夏休みの貸出として延長の手続きをしてください。



蔵書点検のお知らせ



今年も夏休み中に蔵書点検を行います。蔵書点検とは、図書館の本が紛失していないか、正しい本棚に配架されているか、破損している本はないか、などを確認する作業のことです。

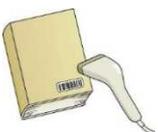
【蔵書点検期間】 課外授業の午後 1：00～3：00

7月21日(木)、22日(金)、25日(月)、26日(火)、27日(水)

8月22日(月)、24日(水)、25日(木) (23日は、1日体験学習)

※蔵書点検期間中も、通常の貸出・返却できます。

学習もできますが、蔵書点検機器の音がします。ご了承下さい。



夏に読みたい！ミステリー小説特集 ①

担当：2-1



『魔力の胎動』 東野圭吾 著

『ラプラスの魔女』の前日譚。
5つの物語からなるミステリー短編集小説。
ミステリー作家の代名詞、東野圭吾さんの作品です。

『白鳥とコウモリ』 東野圭吾 著

遺体で発見された善良な弁護士。
一人の男が殺害を自供し事件は解決のはずだったのに…
事件の行く末も気になる作品です。



『硝子の塔の殺人』 知念実希人 著

今年度「本屋大賞」入賞作品。
いかにもミステリー作品にありそうな建物、シチュエーション、、、
ミステリーを感じながら、ミステリーの知識も得られる作品となっています。

『13階段』 高野和明 著

皆さんは死刑制度についてどう思いますか？
この本は物語ですが、死刑制度について描かれているので
日本の司法のあり方も考えることが出来て、
またミステリー小説として楽しめる作品でもあります。



夏に読みたい！ミステリー小説特集 ②

担当：2-2

『トワイライト』 ステファニー・メイヤー 著

映画化もされた全 13 冊の長編物語。
青春とファンタジー、ロマンスが詰め込まれた
ヴァンパイアと人間の甘美なラブストーリーです。

トワイライト

ステファニー・メイヤー



『天久鷹央の推理カルテ』 知念実希人 著

統括診断部。天医会総合病院に設立されたこの特別部門には、各科で「診断困難」とされた患者が集められる。誰も予想が出来ない患者の病気を頭脳明晰、博覧強記の天才女医・天久鷹央が診断で解決する新感覚メディカル・ミステリー作品。たくさんシリーズが出ていますが、どの本を手にとっても面白い作品です！

『新謎解きはディナーのあとで』 東川篤哉 著

お嬢様刑事と毒舌執事の前にもまたも難事件が立ち上がる。
ドラマ化、映画化されたミステリー小説の新シリーズ。
個性的な登場人物やトリック、麗子と影山の掛け合いにも注目！



『崩れる脳を抱きしめて』 知念実希人 著

広島から神奈川の病院に実習に来た研修医の碓氷は、脳腫瘍のユカリと出会う。心に傷をもつ2人は次第に心を通わせる。広島に帰った碓氷に突然ユカリの死の知らせが届く。ユカリの足跡を追う碓氷に明かされる衝撃の真実とは！？

